



The Fukushima 2020 Information

ふくしまの未来に向けたみんなのアクション VOL.8

東京2020大会の新開催日程が決定!

2020年3月24日、IOC（国際オリンピック委員会）と大会組織委員会は、東京2020大会の延期を発表しました。

そして同月30日、IOC、IPC（国際パラリンピック委員会）、大会組織委員会、東京都、日本政府は、

2021年に開催される東京2020大会の新日程に合意しました。

オリンピックは2021年7月23日から8月8日の17日間、

パラリンピックは2021年8月24日から9月5日までの15日間開催されることになりました。

これに伴い、福島県で開催が予定されていた野球・ソフトボール競技や聖火リレーも、

開催日程等について検討が進められています。

新たな開催日程が決まり次第お知らせします。

延期に伴うさまざまなギモン

Q あづま球場での野球・ソフトボールはどうなるの？

A. 今回の大会運営計画を踏襲して実施される方針です。県としては、引き続き、大会組織委員会を始めとした関係機関と連携し、準備を進めてまいります。

Q 聖火リレーはどうなるの？

A. 日数やルート、福島から出発するグランドスタート、既に決定している聖火ランナーなど、これまでの基本的なフレームを尊重しながら大会組織委員会で見直しが行われているところです。

Q TOKYO2020の名称はどうなるの？

A. ロゴや公式グッズなどに使用するTOKYO2020という名称は、継続して使用することをIOCと合意しています。

Q ボランティアはどうなるの？

A. フィールドキャストとシティキャストに内定していた皆さんは、継続し来年の大会時に活動していただく予定です。

Q 既に購入していたチケットはどうなるの？

A. 購入したチケットは無効ではなく、来年も原則利用できるよう大会組織委員会にて検討中です。競技日程等の変更で来場が困難な場合は払い戻しが可能となる予定です。

新たな決定があり次第、ふくしまプラス2020とネットワークニュースでお知らせします!



ホストタウンの 合宿・交流の取り組み



11/3-20 ハンガリー・イスラエル
水泳合同合宿（郡山市）



1/27-30 ラオス・ドンニヤイ村
視察団招聘（飯館村）



GAPおもてなしコンテストで郡山市と岩瀬農高が入賞

2月28日、内閣官房オリパラ事務局は、GAP食材を使ったおもてなしコンテストの受賞チームを発表し、郡山市×岩瀬農業高校チームが事務局長賞を受けたほか、会津若松市×会津農林高校チームがWeb投票ランキング3位に輝きました。

農業生産工程管理の取組を示すGAPの認証取得農場の食材を使ったコンテストで、農業高校などとホストタウン市町村とが協力し、選手に食べてもらいたい料理を考案しました。県内からは5チームが参加しました。

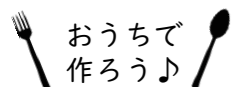
郡山市と岩瀬農高チームは、ハンガリーを相手国とした料理6品を考案しました。生徒が栽培しグローバルGAPの認証を受けたコメ、キュウリ、リンゴ、ブルーベリー、バジル、郡山市特産の鯉などを食材に使い、鯉メンチカツやハンガリーロール、シューマイ、鶏の唐揚げ、スムージー、米粉パンを創作しました。



参加チーム	相手国
福島市×福島明成高校	ベトナム
会津若松市×会津農林高校	タイ
郡山市×岩瀬農業高校	ハンガリー
二本松市×安達東高校	クウェート
大玉村×小野高校	ペルー



各チームの
取組はこちら



ハンガリーロールのレシピ



- ①赤・緑パプリカを刻んで酢飯に混ぜハンガリー国旗カラーに
- ②天ぷら粉にもパプリカパウダーを混ぜ、揚げたら天つゆにつけておく
- ③ラップに2色のごはんを広げ、具材をのせ巻き締める
- ④1口大に切り、お好みでタルタルソースをつけて食べる

パプリカはハンガリー料理に欠かせない食材だよ!



- 〈材料（1本分）〉
- ・赤パプリカ酢飯…130g
 - ・緑パプリカ酢飯…130g
 - ・鯉ソーセージ…1本（魚肉ソーセージ代用可）
 - ・鯉の天ぷら…2切れ（白身魚代用可）
 - ・エビフライ…2本（ウスターソースに浸す）
 - ・玉子焼き…1本（棒状にカット）
 - ・タルタルソース…お好みで

「ふくしまプラス2020」

福島県では、東京2020大会に向けた情報を発信するポータルサイト『ふくしまプラス2020』を開設していますので、ぜひご覧ください!

また、皆様の東京2020大会に向けた取り組みの中で、当サイトへ掲載を希望するイベント等がありましたら、随時、情報提供をお願いします。



【発行日】令和2年6月8日
 【発行者】東京2020オリンピック・パラリンピック復興ふくしま推進会議事務局
 （県オリンピック・パラリンピック推進室内）
 【お問い合わせ】
 E-mail:fuku2020@pref.fukushima.lg.jp
 ☎024-521-7312

競技
開催

あづま総合運動公園に オリンピックシンボル花壇を設置



オリンピックシンボル花壇

Olympic symbol flowerbed
福島の地でオリンピックシンボルの花壇を制作しました。花壇の中心部は、福島県産の草花で構成されています。花壇の周囲には、福島県産の草花で構成されています。花壇の中心部は、福島県産の草花で構成されています。

現在の花の種類



5月15日、東京2020オリンピックの野球・ソフトボール会場となる福島市のあづま総合運動公園に、県産草花でオリンピックシンボルを表した大型花壇を設置しました。花は福島明成高校の生徒が昨年準備を進め、オリンピック100日前の4月中旬のお披露目を目指し大切に育ててきました。東京大会は延期となったものの、そうしたオリンピックに向けた生徒の思いを発信するため、今回花壇を設置しました。

大型花壇は横約6メートル、奥行き約3メートル、高さ約2メートル、枠組みには県産木材が使用されています。シンボルには5色のビオラとリーフレタス約2100株が使用されています。花壇は約1カ月ごとに季節に応じた草花に植え替えながら、9月頃まであづま総合体育館前広場に展示する予定です。



ビオラの苗を植える生徒



花を設計図通りトレーに植え替え



大型花壇の枠組には県産杉を使用



花壇設置に協力いただいた福島明成高校の先生

VOICE



福島明成高校
生物生産科3年
齊藤 晴香さん

この花壇を作成するために、2000株以上の苗を一つ一つ丁寧にポットに植え替える作業はとても大変でした。それでも、福島を訪れる方々がこれを見て喜んでくれる姿を想像しながらの作業はそれ以上に楽しかったです。

大会が延期になってしまったことに悔しい気持ちもあります。しかし、この状況でストレスを抱えている人達が、ここに咲いている花々で少しでも元気になっていただければうれしいです。



福島明成高校
生物生産科3年
中野 妃可さん

2年生の頃から、この日のために播種(はしゅ)や鉢上げなどの管理を愛情をこめて行ってきました。花壇と同じように育苗トレーを並べたときに色鮮やかに浮かび上がった五輪マークを見たときの感動は忘れません。

今回設置に参加できず、悔しい気持ちもありますが、少しでもオリンピック・パラリンピックに携われたことを誇りに思います。

聖火
リレー

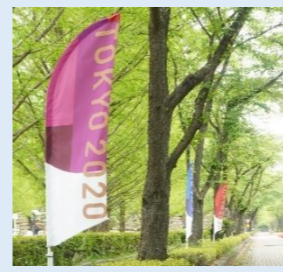
「復興の火」が福島に



競技
開催

大会用装飾を行いました

3月16日から3月23日、野球・ソフトボール競技の会場であるあづま総合運動公園や県庁、県内各地の主要駅(福島駅・郡山駅・新白河駅・会津若松駅・会津田島駅・原ノ町駅・いわき駅)で東京2020大会専用デザイン(大会コアグラフィックス)を使用した装飾を取り付けました。



あづま総合運動公園のフラッグ

東京2020大会の装飾カラー



紅(くれない) 藍(あい)



桜(さくら) 藤(ふじ) 松葉(まつば)

聖火
リレー

聖火リレートーチを展示

聖火リレーのグランドスタートまで1カ月前となっていた2月26日から、オリンピック聖火リレートーチを巡回展示しました。

初日となる26日には、県庁西庁舎県民ホールで内堀知事とパイロットで聖火リレー福島県PRランナーの室屋義秀さん(福島市在住)によるPRイベントを行いました。

巡回展示は聖火リレーの始まる予定となっていた3月26日まで県内7カ所を巡りました。



ホスト
タウン

二本松市とデンマーク カヌー連盟が協定締結

3月1日、二本松市ではデンマークカヌー連盟ハイパフォーマンスマネージャーであるラース・クリスチャン・ロビレさんを招き、東京2020大会に向けての事前合宿に関する覚書の締結式を行いました。今後、協議を進め、大会前の2週間程度、デンマークカヌーチームの事前合宿を二本松市阿武隈漕艇場で受け入れる予定です。



ホスト
タウン

猪苗代町が共生社会 ホストタウンに登録

4月7日、内閣官房オリパラ事務局が共生社会ホストタウンの追加登録を発表し、猪苗代町が登録されました。共生社会ホストタウンは、パラリンピアンを受け入れを契機に共生社会の実現に取り組むホストタウンです。

ホストタウン	福島市(スイス、ベトナム) 会津若松市(タイ)、郡山市(オランダ、ハンガリー)、いわき市(サモア)、二本松市(デンマーク)、田村市(ネパール)、大玉村(ベルー)、南会津町(アルメニア)、猪苗代町(ガーナ)
復興「ありがとう」ホストタウン	喜多方市(米国)、二本松市(クウェート)、南相馬市(ジブチ、台湾、米国)、伊達市(ガイアナ)、本宮市(英国)、北塩原村(台湾)、楡葉町・広野町・川俣町(アルゼンチン)、飯館村(ラオス)
共生社会ホストタウン	福島市(スイス)、猪苗代町(ガーナ) ※福島市は先導的共生社会ホストタウンとしても認定